

**【表紙】**

**【提出書類】** 有価証券報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の2第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2023年11月21日

**【事業年度】** 第132期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

**【会社名】** 旭化成株式会社

**【英訳名】** ASAHI KASEI CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 工藤 幸四郎

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号

**【電話番号】** 03(6699)3030

**【事務連絡者氏名】** 経理・財務部長 木住野 元通

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号

**【電話番号】** 03(6699)3030

**【事務連絡者氏名】** 経理・財務部長 木住野 元通

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2023年6月27日に提出いたしました第132期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

2【サステナビリティに関する考え方及び取組】

(1)サステナビリティ共通

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)への対応

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

2【サステナビリティに関する考え方及び取組】

(2)人的資本に関する開示

3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

2【サステナビリティに関する考え方及び取組】

(1)サステナビリティ共通

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)への対応

(訂正前)

(省略)

指標と目標

当社グループは、以下の指標を気候変動のリスク・機会に係るものとして位置付けています。

	目標	指標の意味
GHG排出量**	2030年:30%以上の削減(2013年度対比) 2050年:カーボンニュートラルの達成	
GHG排出量**/営業利益	(2021年度実績 0.20t-CO <sub>2</sub> e/億円)	低下は炭素税リスクの低減を示します
ROIC	2030年近傍:10%以上	向上は変化対応力ある高収益事業体への進化を示します
GG10の営業利益	2030年近傍:70%以上構成 (2021年度実績:35%)	気候変動に貢献しうる関連事業の伸長を表します

その他

インターナルカーボンプライシング(ICP)	10,000円/t-CO <sub>2</sub> eで投資判断、表彰制度等に活用
役員報酬での気候変動課題の反映	「業績連動報酬」において、気候変動に関する取り組みを含む「サステナビリティ推進」達成度を反映

\*7 当社グループの事業活動に直接関わるGHG排出量であるScope 1(自社によるGHGの直接排出)、Scope 2(他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出)が対象

(訂正後)

(省略)

指標と目標

当社グループは、以下の指標を気候変動のリスク・機会に係るものとして位置付けています。

	目標	指標の意味
GHG排出量**	2030年:30%以上の削減(2013年度対比) 2050年:カーボンニュートラルの達成	
GHG排出量**/営業利益	(2021年度実績 0.20万t-CO <sub>2</sub> e/億円)	低下は炭素税リスクの低減を示します
ROIC	2030年近傍:10%以上	向上は変化対応力ある高収益事業体への進化を示します
GG10の営業利益	2030年近傍:70%以上構成 (2021年度実績:35%)	気候変動に貢献しうる関連事業の伸長を表します

その他

インターナルカーボンプライシング(ICP)	10,000円/t-CO <sub>2</sub> eで投資判断、表彰制度等に活用
役員報酬での気候変動課題の反映	「業績連動報酬」において、気候変動に関する取り組みを含む「サステナビリティ推進」達成度を反映

\*7 当社グループの事業活動に直接関わるGHG排出量であるScope 1(自社によるGHGの直接排出)、Scope 2(他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出)が対象

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

2【サステナビリティに関する考え方及び取組】

(2)人的資本に関する開示

(訂正前)

戦略、指標と目標

(省略)

(社内環境整備方針)

(省略)

・自立な学習プラットフォーム「CLAP」

(訂正後)

戦略、指標と目標

(省略)

(社内環境整備方針)

(省略)

・自律的な学習プラットフォーム「CLAP」